

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

対象期間: 令和4年10月1日～令和5年3月31日

評価期間: 令和5年4月18日～令和5年4月28日

討議年月日: 令和5年5月23日

公表: 令和5年6月13日

事業所名 ひまわりのもりしーず

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			適切である	
	2	職員の配置数は適切である	2	1	2		安全に療育出来るように職員の増員が必要
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	3		該当者なし 必要な利用者が利用される際は今後スロープ等が必要
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			年2回のキャリアパス内でも実施	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			年2回実施	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			HPIにて公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			社内研修の充実をはかり、年間を通して適宜研修を行っている	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			指導員、児発管とで情報共有し、分析した上で計画書作成を行っている。軽微変更等必要時はその都度会議を開く	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	4		発達センターの医師や作業療法士の診断書を活用しながら子どもの適応行動を把握し療育に努めている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			職員間で意見・検討を行い、活動プログラムをチームで行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			職員間で意見を出し合い偏りが無いよう活動プログラムの計画、工夫を行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			平日、休日、長期休暇に合わせて課題を設定し、学校行事等の疲れなどにも配慮している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			子どもの状況に合わせ、個別活動・集団活動(小集団活動)を組み合わせ計画書の作成を行っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			支援開始前に朝礼を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			支援終了後に夕礼を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			支援目標を記載した日々の記録を活用し個人記録に反映させている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			会議に参加出来ない職員からは事前に意見を聞き、意見検討・振り返り・見直しを行っている		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			年度初めや定期的にガイドラインについて勉強会を開き検証・反映させている		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		新規利用時の担当者会議には、職員も参加し情報共有に努めている		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		送迎時に担任と情報共有を行い、下校時刻・行事・災害時の対応等連絡調整を行っている		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当なし		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			該当なし		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			該当なし		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			5	子ども福祉協議会にて専門性の研修があった際今後参加を検討していく	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			5	コロナ禍の為機会を持つ事が出来なかった為、今後検討	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4		1	子ども福祉協議会への研修などには積極的に参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			送迎時や連絡帳を通して子どもの状況を伝えている モニタリング説明時に日々の様子の写真・取り組んだ課題プリントをお渡しし共通理解に努めている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			5		ペアレントトレーニング等の研修が受けられないか検討	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時、また日々の送迎時等で対応している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			直接お会いした時や、連絡帳を通して情報・助言の伝達を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			5		コロナ禍の為機会を持つ事が出来なかった為、今後検討
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			相談窓口を設置している 現在まで苦情はないが、体制を整えマニュアルを常備している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			ひまわりだより、HP等	
	35	個人情報に十分注意している	5			鍵付きの書庫を使用、個人情報の持ち帰りが無いよう徹底している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			保護者様一人一人に応じた配慮に努めている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			5		コロナ禍の為行えていないが、出来る事がないか今後検討する

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		各種マニュアルを策定し職員へ周知。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		年2回の火災の避難訓練、年1回の地震・風水害の避難訓練を行い、おたよりやHPに掲載している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待防止委員会を設置し全職員が研修等に参加し虐待防止に努めている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			現在該当者はいないが必要時には対応が出来るようマニュアル・指針等を常備している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			該当なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		会議等を通して、全職員で対応を振り返り再発防止に努めている	